

通信文化 2018年6月号



公益財団法人
通信文化協会
6/5 発行

前島密賞受賞記念講演から

いつまでも

心をつないでいきたい



元日本放送協会アナウンス室
エグゼクティブアナウンサー
桜井洋子

歴史が動いていく瞬間瞬間の姿を、放送を通じて広く世の中に伝えてきた桜井氏が、その過程で得た貴重な経験の数々を語る。

巻頭言

日本社会事業大学学長
東京大学名誉教授 神野直彦

二つの環境破壊と二つの木陰

政治の潮流

女性候補促進法が政治を変える

暖流・寒流

郵便局頼みの過疎地対応

ダイバーシティ通信

多様なお客さまのニーズに応える店舗
(千葉・イオンモール幕張新都心内郵便局)

歴史散歩

歴史家 加来耕三

百歳を超える長寿健康法 天海僧正

徳川三代に仕えた南光坊天海僧正。
百八歳の長寿を保った健康法をみる。

日本人ここにあり

作家 出久根達郎

えささのさ〜北原白秋

切手歳時記

蝙蝠

本土復帰五十周年の小笠原。ここに生息するオガサワラコウモリをデザインした切手の話。



論より紹興酒

落語家

立川談四楼

天気予報は難しい

直球曲球

サッカーワールドカップの展望

被災した東北の高校生を

日本一の富士山へ

一般社団法人田部井淳子基金
代表理事 田部井進也



東日本大震災の後、福島県出身の田部井淳子さん達は、東北の高校生を富士山に登頂させようと計画。

ドクターに聞く病気と健康

肺がん

東京通信病院呼吸器科主任医 原 啓

肺がんは最も死亡数の多いがん。その原因、診断、治療に分けて説明する。

誰かに教えたくなる

科学技術の話

ターミネーターのような自己修復技術

わが街わが故郷

山梨県甲府市



甲府は、戦国の名将として人気の高い武田信玄の故郷。来年には開府五百年を迎える甲府の歴史と現在を紹介する。

世界の国から

急速に発展する中国

在中国日本国大使館經濟部

参事官

飯嶋威夫



地域おこし

静岡県富士宮市

富士山の恵みを活かした

元気に輝く国際文化都市

簡易郵便局を訪ねて

石川県輪島市 曾々木簡易郵便局



読者プレゼント
抽選で30名様に

7月8月の最盛期に収穫をした「岡山白桃」を丁寧に処理をしてシロップ漬けに。その桃を裏ごしをして仕上げたさわやかな白桃ゼリーで濃厚なプリンとのセット。

【編集】

〒113-8139 東京都文京区湯島 4-5-16

公益財団法人通信文化協会 編集担当